

comachi plus

2025 Annual Report

子育てを、まちでプラスに。

comachi plus

2025 Annual Report

認定NPO法人 こまちぶらす 2025年度年次報告書

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町145-6 奈良ビル2F

☎ 045-443-6700 ✉ staff@comachiplus.org



こまちぶらす <https://comachiplus.org>

こまちカフェ <https://comachicafe.com>

こよりどうカフェ <https://coyoridocafe.com>

ウェルカムベビープロジェクト <https://welcomebabyjapan.jp>

※ 本書の本文・資料等をご使用される場合は、当法人までご一報ください。



comachi plus

こまちぶらすのはじまり

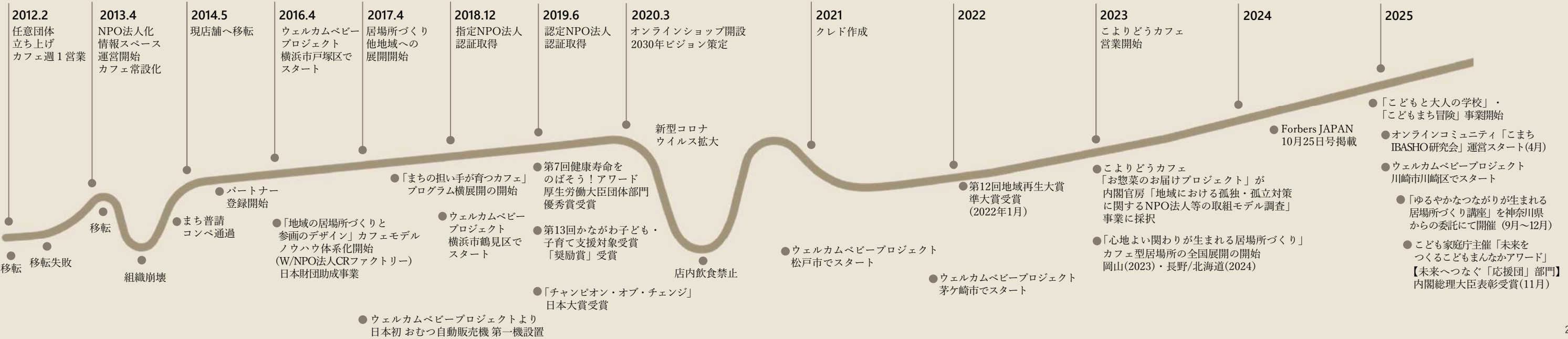
こまちぶらすは、理事長の森自身の出産直後の「何かぼっかり穴があいたような感覚の日々を過ごしたこと」に始まります。その状況から抜け出せたのは、幾つかの偶然やタイミングが重なり、素敵な「まち」の人たちと過ごし、参加する機会に奇跡的に出会えたことでした。こまちぶらすでは、その出会いが「偶然」の重なりや奇跡的にどこから降ってくるのを待つものにするのではなく、仕組みとしてつくっていききたいと思い、活動を始めました。最初に取り組んだのは、適切な情報が必要な方に届くようにする「地域こそだてカレンダー」「幼稚園情報冊子」づくりと、「こまちカフェ」の運営です。カフェはお金も場所もなく週一日、場を借りするところからのスタートでした。

こまちぶらすのクレド



クレドとはラテン語で「志・信条・約束」を表す言葉で、一人ひとりが活動や団体にどうやって関わっていくか、関わっていききたいか、「自分」と「自分の活動や組織」との約束を表現したもの。

こまちぶらすのあゆみ



アトリエあちゃった

こまちぶらすの2030年ビジョン

理事長よりメッセージ

先日「dehumanized（人間性を奪われる）」という言葉に耳にしました。世代を超え社会に深く根差した抑圧は静かで、本人すら気づきにくいものです。自分の意志で選び、行きたい場所を願い、決めていかれる自由がいかに有り難い(当たり前ではない)ことを深く実感させられます。

こまちぶらすは2025年度、「こどもと大人の学校」と「こどもまち冒険」という、まちの中で共に学び合い表現し合う場をつくり始めました。生まれたときからまち全体に歓迎され、つながりの中で安心して育ち合える。そんな「当たり前であってほしい日常」をもう一度つくっていききたいと思います。

こうした挑戦を続けていられるのも、いつも温かく支えてくださる皆様のおかげです。日常を共につくってくださるすべての皆様に心からの感謝を込めて、スタッフ一同でこの年次報告書をお届けします。2026年度もどうぞよろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動法人
こまちぶらす 理事長 森 祐美子



こまちぷらすの事業紹介

こまちカフェ



季節の野菜を使ったランチは卵・小麦・乳製品不使用。スイーツも同様に、米粉を使ったクッキーやケーキを提供しています。平日のランチタイムには見守りボランティアさんがおり、子育て中の方も安心して過ごせる場づくりを行っています。ハンドメイド雑貨(haco+)の販売やスペースの貸し出し、おしゃべり会なども実施しています。

ゆるやかなつながりや仲間づくりができる地域の居場所となることを目指して運営しています。

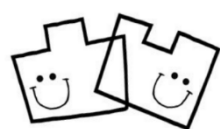


こまちカフェ



haco+

でこぼこの会



お子さんの発達に不安を持つ保護者・支援者・当事者・発達障害について知りたい方が参加し、月1回お話し会や勉強会をしています。経験談を共有しあったり、地域の情報などもお伝えしたりしています。何度でもその方のタイミングでいらしていただけるようお待ちしております。



こよりどうカフェ



こまちカフェの姉妹店で、400年の歴史を持つ善了寺の境内のお堂にて運営しています。

まちの様々な人にとっての「ヨリドコロ」が増えるよう、こまちカフェ同様ランチの提供等に加えて、金曜日夜のterabaru営業、近隣保育園や就労移行支援事業所との連携にも力を入れ、地域でのゆるやかな出会いのきっかけをつくっています。



ケアラズカフェ 「えんがわ」



「子育てと介護のダブルケア」に直面している方や、「親のこれから」に不安を抱えている方、介護について早目に知っておきたい方が参加し、気持ちを共有したり情報交換をしたりする場です。

家族内のケアを家族だけで何とかしようと思わず、周りに甘えられる世の中になること、そんな場のひとつであることを目指しています。



ウェルカムベビー プロジェクト

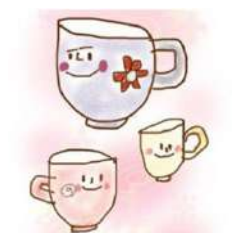


「まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし、子育てを応援できる社会になること」を目指しているプロジェクトです。

横浜市戸塚区において2016年4月に、赤ちゃんを家族をお祝いする気持ちをこめて、地域と企業から「出産祝い」をお送りすることからスタートしました。2025年度現在、5地域で展開中です。



ほっとひと息金曜日



小・中・高校生世代の不登校、ひきこもりのお子さんを持つ保護者や支援者が集まり、おしゃべりや情報交換をする会で、月に一度開催しています。

まずは親御さんが元気になることで、子どもにとって家庭が安全な場になると考え、笑顔を取り戻していただけるよう場をつくっています。



ただい間のおうち



月1回金曜日の夜に、不登校・ひきこもり・生きづらさを感じている児童・生徒(学齢期)の親子が外に出て、家族以外の第三者と交流できる場を提供しています。

名称には、学校・家庭・ともだちなど様々な場所・関係の「間」のほっとできる場所でありたい、という意味が込められています。



戸塚宿ほのぼの商和会 事務局



こまちカフェが店舗の一つとして加盟している『戸塚宿ほのぼの商和会』の事務局を、2016年10月より務めています。

子育てに必要なまちのインフラを考え提案するなど、まちの中で子育てに関わる人を増やしていくきっかけとして役割を担っています。



居場所立ち上げ伴走 プロジェクト・ IBASHO研究会



誰もが自由に足を運べ、参加できる余白や誰かとつながるきっかけを兼ね備えた「心地よい関りが生まれる」居場所が、他地域でも立ち上げやすく続けやすくなるよう、2店舗の運営にて培ったノウハウの共有や学び合いをしています。



とつかの子育て応援ルーム 「とことこ」 情報コーナーの運営



戸塚区役所内の「とことこ」の情報コーナーの運営を実施しています。

各家庭のニーズに合った、子育てに関するさまざまな情報を情報コンシェルジュがご案内します。



研修・調査の実施 「3枚の葉っぱ」 ワークショップ等



それぞれの事情のある方々も孤立することなく、まちの様々な人や場所とのつながりの中で思いを共有できるよう、多様な立場の方どうしが互いの思いを知る対話の場を大切にしています。「3枚の葉っぱ」のワークはその対話の手法の一つです。ご要望に応じて、市民の声を活かしたワークショップや研修を、行政や企業でも行っています。

また、活動内容をもとに大学の研究者との共同研究を実施したり、ご依頼に応じて講演に伺ったりもしています。



地域こそだてカレンダー



地域の子育て情報をデータベース化し、ネット検索できるように掲載しています。

たくさんの情報の中から必要な情報をすぐに探しだすことができるよう工夫しています。



2025 highlights!

2025年度は、両カフェを拠点とした「子育て世帯とまちをつなげる取り組み」に力を入れてきました。産前産後の家庭にまちからのお祝いと応援を届ける「ウェルカムベビープロジェクト」にはじまり、保育園と連携したお惣菜事業や夕食の時間帯の営業等、働く世帯へのアウトリーチになるような事業も進めました。また、不登校・引きこもりの子を持つ親や、子ども達自身がこまちカフェで安心して過ごせる場づくりを更に深めるべく、近隣の商店会や企業等と連携して、主に学齢期の子どもたちの学びや経験の機会を作りました。

更に、これまで13期にわたり開催してきた「居場所作り学びあい講座」や全国各地の受講生たちが、その後の実践で感じた学びや課題を共有できるオンラインコミュニティ「こまちIBASHO 研究会」を立ち上げ運営を開始しました。

comachi café



何度足を運んでいただいても、いつも新鮮な体験を提供できるよう、ランチやドリンクの新メニューの開発にも力を入れました。スタッフとこまちパートナー(ボランティア)の連携を深め、柔軟な体制を構築し、ひとりひとりのスキルの向上と運営の安定化を実現させたことで、多くの方に関わっていただくことができました。

HALF BIRTHDAY



より多くの親子が地域とつながる接点を増やすために、「お誕生日ぶちばーていー」に加え生後半年をお祝いの「ハーフバースデー」を新設し、利用者の方が主体的に場を楽しむ機会を設けることにも力を入れました。

絵本の読み聞かせ



スタッフ発案の「1歳からのゆるっとママカフェ」や「絵本の読み聞かせ」も親子がゆるやかにつながる場として定着しています。また、外部出店のお弁当販売や出張料理では、地域の方々と共に活動する場を広げ、カフェの枠を超えたコミュニティ形成を図ってきました。

店内改装の様子



2026年4月初旬のリニューアルオープンに向け、2026年1月からは店内の改装をスタート。内装の木のオーナーやカフェで利用するお皿のオーナーを募集し、様々な形での参加ができる居場所として準備を進め、現在、リニューアルオープンした店舗で新しいメニューの提供を行っています。

coyorido café

近隣の保育園5園と連携し、惣菜配達に加え、降園時間に合わせた出張販売を定期開催するほか、金曜日の夕食時の営業の「terabaru」にて保育園招待日を設けるなど、保護者の家事負担軽減と子育て層の交流の場を設けました。

地域企業や商店会からの大口注文への対応も行い、定休日のスペース開放を通じ、「食」と「空間」の両面から地域の方のヨリドコロとなるよう努めました。

また、子どもたちが地域に親しみきっかけ作りとして、善了寺からのご寄付によりteracoyaを実施。子どもたちが夕方の時間に、無料の軽食を食べながらゆっくり過ごせる場として定着しています。夏の花火大会やすいか割り、和菓子の会といった季節行事を通じ、多世代が交流する機会を設け、夏休みに子どもたちが気軽に立ち寄れる仕掛けづくりをしました。

地域の専門技能を持つ講師を招く「とつかの匠」シリーズでは、脚本家やアスリートなど第一線で活躍する方々と共に、世代を超えた新しいコミュニティの形を実現しました。「本」「映画」「音楽」といった個人の関心を入り口とした定例活動も充実し、善了寺本堂でのライブイベントなど、文化的な交流の幅も大きく広がりました。

就労移行支援事業所との連携も継続したりと、多様な方々が関わり合える場を日々作りました。



haco+

手作り雑貨マルシェhaco+では、手作りの作品を両店舗で販売し、小学生の作家さんも時々販売をしてくれるようになりました。「大切な人への贈り物展」では、両店舗で連携しながら年4回開催しました。

■お菓子部門



tamatebako



横浜高島屋「LOVE YOKOHAMA」へ出店

こまちカフェ・こよりどうカフェでの店頭販売に加え、横浜高島屋で開催されるイベント「LOVE YOKOHAMA」や地域イベントへの出店を通じて、こまちのお菓子を多くの方に届ける機会を広げました。

大口注文にも対応できるよう、製造体制の見直しやスタッフ育成に加え、こまちパートナーの皆さまのお力も借りながら、これまでにない規模で作ることができました。

メッセージ入りクッキーや季節限定商品、毎月のクッキー缶「tamatebako」など、商品の幅を広げるとともに、オンラインショップを通じて遠方のお客様にもお届けしました。

誕生日やクリスマスケーキ、季節のデザートプレートを提供したほか、

「パフェ教室」や「こどもとおとなの学校 スイーツコース」では参加者とともにメニューを開発し、マルシェで米粉のカップケーキを販売しました。

お菓子づくりを通じて、子どもたちの体験を広げ、地域とつながる新たな価値を生み出すことができました。



パースデーケーキ

ウェルカムベビープロジェクト

＜本部＞

ウェルカムベビープロジェクト5か所目の支部となる「川崎区支部」(事務局:一般社団法人大師ONE博)が発足しました。

それぞれの支部で贈った出産祝いの数は、横浜市戸塚区で650人、横浜市鶴見区392人、千葉県松戸市で386家庭、神奈川県茅ヶ崎市で82家庭、川崎市川崎区で179家庭でした。(2026年4月現在)

全支部での交流会を実施することで、プロジェクト実施における課題を見つけ、相談し合う時間を設けました。



＜戸塚支部＞

戸塚では13社のプレゼントパートナーが参加してくださり、背守りと合わせて14個のプレゼントを贈りました。



1 2
3 4



1. 背守りを縫う会「とつか背守り会」
2. 巾着おくりプロジェクト
3. ママ・パパ会
4. 出産祝い選考結果発表会

＜戸塚支部＞ 新たな取り組み

「巾着おくりプロジェクト」スタート

手芸が得意な人だけでなく、地域の方、出産祝いを受けとった方、関わってみたいと思っている方に気軽に楽しく参加してもらえよう、「巾着ちくちくの日」と「巾着キットづくりの日」と分けてワークショップ形式にて開催しました。

出産祝いを受けとった方が贈る側になり、家庭で眠っている資材がプレゼントとして活用される、そんな“めぐり”や“循環”をめざしています。

巾着贈りプロジェクトで作成した物は2026年度の出産祝いにてお届けしています。

「ママ・パパ会」スタート

年に4回、決まった0歳～1歳児までのママ8組のメンバーで集まり、子育て中の悩みや趣味、今やってみたいことを話し合って実現する「ママ・パパ会」を新たに開催しました。1年間同じメンバーで参加できる内容にしたことで、参加者同士でお互いの子どもたちの成長と一緒に喜ぶ姿が見られました。

この取り組みを通して、参加者の皆さんたちからウェルカムベビープロジェクトの取り組みについての感想や意見を頂いた他、出産祝いのプレゼント「巾着」や「背守り」をつくるイベントへ参加するきっかけづくりができました。

＜戸塚支部＞ 企業やまちの方々と…

ウェルカムベビープロジェクトに参加する企業とコラボレーションし、産前産後家庭を対象としたイベントを年数回実施しました。

子育てを応援、こどもと一緒にの来店を歓迎する商店に「タウンサポーター」として登録していただいています。毎月7日を「ナッピーデー」として、こどもと一緒にお店に行くと「嬉しいコト」があるイベントも継続中です。

また、プロジェクトのキックオフイベントや選考結果発表会に子育て当事者も参加。子育て中のリアルな生活をそれぞれの言葉で、応援いただいている企業や商店の皆さんにお伝えする機会になりました。



お菓子スクール（こどもとおとなの学校）



季節のデザートプレート



お菓子ボトル

「こどもとおとなの学校」の始動

こまちぶらすの活動を重ねていく中で、こどもたちが地域で多くの大人たちと出会い、失敗を重ねながら学ぶことのできる環境づくりが必要だと感じるようになりました。本事業は、かねてから温めてきた「こまちスクール」構想の一部が実現し、開始したものです。



こどもまち冒険 in 里山

2025年6月、子どもたちの「やりたいこと」と「主体性」を大切にしたい冒険を、まちなかのたくさんの大人と一緒につくるイベント「こどもまち冒険 in 里山」を開催しました。アイデアを広げる作戦会議をする日と、アイデアを実行する日の2日間を、まちの方のご協力の下実現することができました。



こどもまち冒険マルシェ

2025年11月、こどもとおとなの学校で学んだ事も活かして、こどもたちの「やってみたい」を事前にみんなで作戦会議をしてマルシェを開催しました。準備や飾り付けも子どもたち主体で担当し、スイーツの販売やファッションショーの開催を、ボランティアの方や戸塚の面白い大人たちと一緒につくり上げました。



こどもとおとなの学校

こどもたちが描いた夢をまちの中で実現していくことのできる時間を作り、今までに会ったことのない子や面白い大人たち、日常では触れられない世界に出会える場にしたいとスタートしました。

2025年10月に開校した「ファッションコース」と「スイーツコース」は2025年4月26日～6月14日のクラウドファンディングで頂戴したご寄付やこどもまち冒険へのご協賛の一部を活用させていただき実現しました。

視察受入 / 講演などの様子



活動の内容にご関心を寄せていただき、居場所づくり、子育て支援、まちづくり等のテーマにて、様々な地域での講演会や研修への講師派遣や、こまちカフェ・こよりどうカフェへの視察受け入れ、ワークショップの企画実施等のご依頼が増えました。また、小学校や高校の授業への協力や、大学との協働研究等、教育機関との連携した取組みも実施しました。

詳細はホームページ内の登壇履歴をご覧ください。

登壇履歴（講演等） | 団体概要 | 認定特定非営利活動法人こまちぶらす



居場所づくり講座（神奈川県・5社協働開催版） こまちIBASHO研究会

2025年度は「こまちIBASHO研究会」が本格始動し、様々な地域で活動する方々とのネットワークづくりに取り組みました。

「心地よい関わりが生まれる居場所づくり」カフェ型居場所の全国展開においては、地元神奈川県で、「ゆるやかなつながりが生まれる居場所づくり講座」を神奈川県からの委託にて開催することができました。

そのほかにも、社会福祉協議会や信用金庫等との共催での講座も実施する等、日々の実践やビジョンを広めることができました。



内閣総理大臣賞受賞

「未来をつくる こどもまんなかアワード」

未来へつなぐ「応援団」部門 内閣総理大臣賞受賞



令和7年度 第3回「未来をつくる こどもまんなかアワード」未来へつなぐ「応援団」部門にて、内閣総理大臣表彰を受賞し、2025年11月27日にこども家庭庁にて行われた表彰式に出席しました。

2012年の活動開始以来、子育てが「まちの力」で豊かになる社会の実現に向け、紆余曲折、試行錯誤しながら紡いできた日々をこのような形で評価していただけたことを嬉しく思うと同時に、これまで13年間の活動に関わり、支え、惜しみなくお力添えをくださった全ての皆さまのお力があってこそ、感謝の念に堪えません。心より御礼申し上げます。

2025年度 年間実績 ご支援・協働によって実現できたこと

子育て中の親を中心とした 対話 と 出番

のべ

18464人

程度

カフェ飲食の利用
イベントを開催・参加した人数



335人

発達障害・ダブルケア
不登校・ひきこもりを
テーマにしたおしゃべり会に
参加した人数

84人

産前・産後についての
講座やおしゃべり会に
参加した人数

子育てに関わる人が地域で増えました

650人

「出産祝い」をお届けした
赤ちゃんの人数
(戸塚区)

136人

「出産祝い」の中に入る
背守りを縫ってくださった
地域の方 (延べ人数)

出産祝いのプレゼントを
つくってくださった企業・団体数

14社・団体



他地域に広がっています

カフェ運営に関する
ノウハウを展開した数

36件



約

1039件

ウェルカムベビー
プロジェクト他4地区
(鶴見・松戸・茅ヶ崎・川崎市)
で届けた「出産祝い」の数
(2026年4月現在)

新しくこまちパートナー
になった方の数

34人



のべ

1116回

程度

こまちパートナーの方が
お手伝いをしてくれた数

こまちパートナーの方が
地域の子育てイベント情報
を入力してくれた件数

4件

3293件

こまちパートナーの方が
立ち上げた企画数

戸塚の子育て情報を必要な人に届けました

3293件

地域の子育て情報の
登録数



1007件

戸塚の子育て応援ルーム
「とことこ」にて受けた
相談数

全国に向けて実施した講演
ワークショップの数

41件



4カ所

心地よい関わりが生まれるカフェ型居場所
の作り方講座を実施した累計地域数
(岡山・長野・北海道・神奈川)

2025年度 収支報告

科目		金額 (単位：円)	前年比
収入	事業収入	親子の居場所づくり事業 (カフェの場) 35,191,116	↑ 116%
	提言・啓発事業	7,202,427	↑ 147%
	チャレンジ事業	(カフェの場) 4,963,249	↑ 123%
	委託事業 (情報)	2,560,122	→ 98%
	コーディネート事業	2,733,185	↑ 124%
	親の学び合い事業	(カフェの場) 181,900	↓ 72%
	事業収入計	52,831,999	↑ 119%
	助成金	2,051,170	↓ 96%
	寄付金	9,770,204	↑ 143%
	協賛金	3,093,000	↑ 109%
支出	会費	250,000	↓ 83%
	その他	199,923	↓ 14%
	収入計	68,196,296	↑ 118%
	人件費	32,916,579	↑ 109%
	家賃/水道光熱費	3,654,811	→ 104%
	仕入れ	8,318,903	↑ 106%
	支払い報酬/外注費	1,995,444	↑ 133%
支出	その他 (租税公課・消耗品等)	7,900,650	↓ 95%
	管理費	10,579,059	↑ 117%
	支出計	65,439,946	↑ 108%
	収支計	2,830,850	

こまちカフェ・こよりどうカフェ共に沢山の
方にご利用いただき、また、一緒につ
くっていただき事業売上が増えました。

「カフェ型居場所の展開」として、他地域
や他団体に向けたこまちカフェの運営につ
いての実務講座を実施したほか、「こまち
IBASHO研究会」が本格始動し、様々な地
域で活動する人のネットワークづくりに取
り組みました。神奈川県からの委託での連
続講座や、横浜市社会福祉協議会等との共
催での講座も初開催し、場や活動が生まれ
やすい環境づくりに挑戦しました。

カフェでゆるやかに人がつながる場として、
イベントの開催やスペースの貸出を行って
います。イベント主催者の皆様と一緒に小
学生以上のお子さんが参加できるイベント
を約20件開催する等、これまでより幅広い
年齢層へアプローチすることができました。

ウェルカムベビープロジェクトにおける企業
との連携事業実施やご支援等によって事業
収入が増えました。

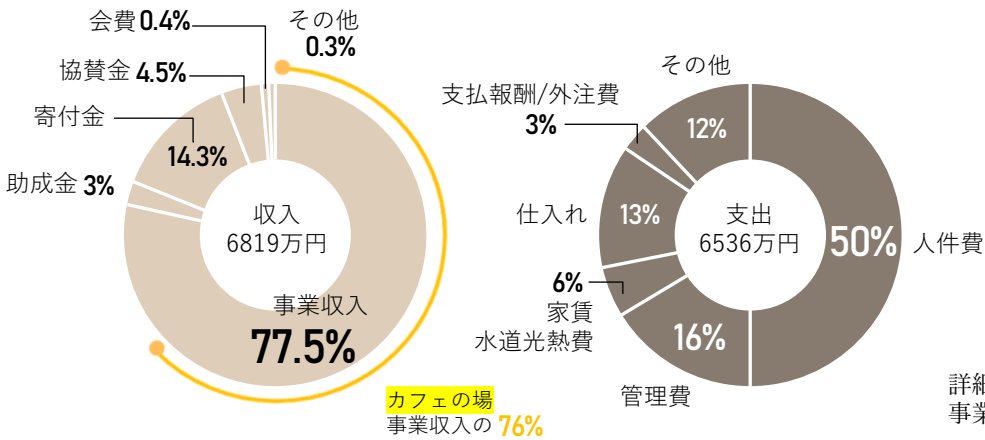
年度初めのクラウドファンディングや年度
末のこまちカフェリニューアルをはじめ、
2025年度もたくさんの方々にお力添えをい
ただきました。心より感謝申し上げます。

たくさんの企業商店のみなさまにも
チャレンジを後押しいただきました。

最低賃金の上昇や体制づくりのために人
件費が増加しました。

物価高騰に伴う仕入れ額が増加しました。

提言啓発事業における、研究実践 (三菱財
団助成事業) に伴い支払い報酬が増えてい
ます。

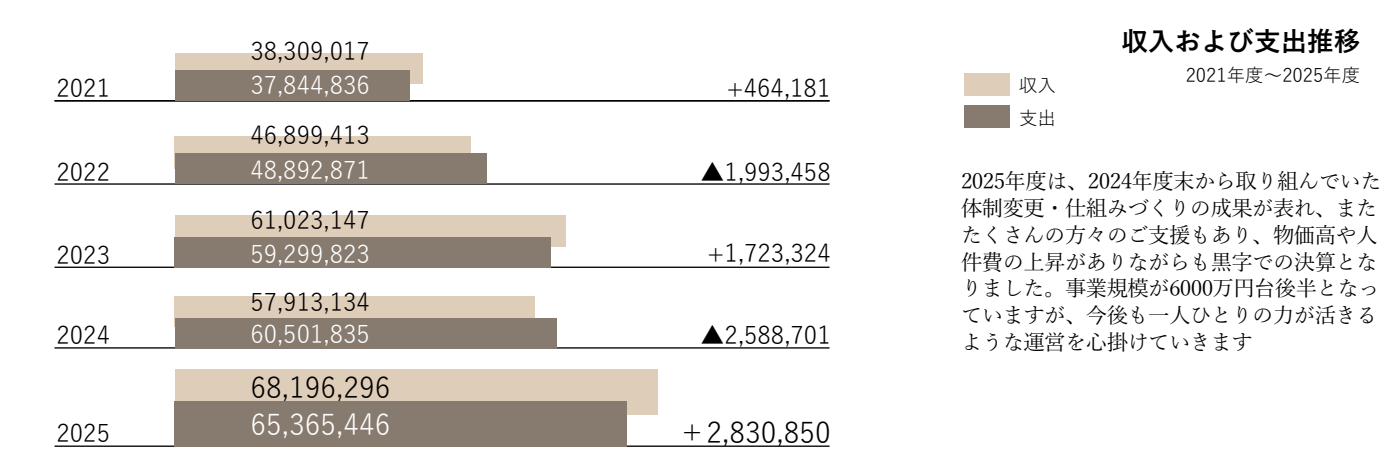


収入では、事業収入が7割を超え、約2割をた
くさんの方からの寄付と協賛金により支えて
いただいています。

事業収入のうちの7.5割は「カフェの場」で
の収入となっており、変わらず「場」の持つ
力が発揮されるとともに、この場があってこ
そ他地域や他団体への展開等にも力を割くこ
とができました。

支出は変わらず約5割を人件費が占めていま
す。その他、運営に必要な家賃・水道光熱費
や仕入れ等で2割程度を占めています。

詳細の収支計算書(活動計算書)や
事業報告書はこちら▶



2025年度は、2024年度末から取り組んでいた
体制変更・仕組みづくりの成果が表れ、また
たくさんの方々のご支援もあり、物価高や人
件費の上昇がありながらも黒字での決算となっ
ていますが、今後も一人ひとりの力が活きる
ような運営を心掛けていきます

こまちぶらすをご寄付で支えて下さっている皆さま

2025年度もこまちぶらすの活動に対し、あたたかいご支援を頂戴し、ほんとうにありがとうございます。
今後も「子育てがまちの力で豊かになる社会」を目指して尽力して参りますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

角野 孝一 / きくま / M.T / 山本 雅美 / Chappy / T.O / 須藤 シンジ / 瀬上 倫弘 / 石黒 芳樹 / T.O / 三輪 律江 / はんちゃん / 堀田 聡子
鈴木 園恵 / 本江 弘子 / うめたに なみ / もっぴー / Y.M. / Praise the brave 八幡真弓 / 竹下 諒 (まなづるクラフト) / Kuroka / 谷澤 香織
HT / 丸山 真澄 / 李 恭子 / 田島 敏子 / 高橋 由奈 / 山崎 泰司 / 山崎 雅子 / 大船こころの相談室 / 梅原 昭子 / まさえ。 / 清水 良介 / HIRO
亥埜 友理 / 保坂 美幸 / 金野 幸雄 / 佐伯 美華 / M.T / 鈴木 妙佳子 / T.I / 下山 洋子 / 山地 将人 / びよんす / 武田 裕子 / 酔眼 / 松田 寿子
Yuka / YA / とっしー / 武蔵 幸恵 / 小林 喜美栄 / 穴戸 佳織 / 南 澄代 / 田中 由貴子 / 伊藤 貴信 / 長田 英史 / 田中 一樹 / 河合 将生 / 南 摩周
松井 真心 / 中陳 亮太 / 加藤 博明 / 戸塚櫻俱樂部 / 三木 孝仁 / 井手 英策 / 野地 真喜子 / 廣瀬 雄大 / 近藤 一美 / M.M / 大塚 敏 / WAKABA
特別養護老人ホーム和みの園 木内 菜穂子 / asano / 神奈川県民の命と食を守る会 / ayako moriya / 島崎 麻矢 / 阿部 知佳 / 里崎 志穂 / Bella
坂本 貴光 / 土井 若菜 / ヤノハラサイクル / 加藤 珠代 / K・M / tomoyo abe / 一之瀬 梨恵 / T-Berry豊田屋 / ETSUKO YONEKURA / たっちゃん
ひろし / 弓削 香織 / NPO法人みどりなくらし / 松本 道雄 / 国子 / いのうえ ひろし / Y.O / 伊藤 修一 / キャベツ太郎 / 上田 よう子
株式会社heartrade / 善了寺 / さやか音感ピアノ教室 / 株式会社三菱UFJ銀行 / とつとり会 / 株式会社スマイルワン / とつか宿駅前商店会
一般社団法人かながわ福祉大学校 / 横浜信用金庫戸塚支店 / 横浜信用金庫戸塚東口支店

ご氏名掲載はご許可連絡を頂いた方のみとなります。
(敬称略 順不同)

ご支援いただいた企業・団体の皆さま



その他多数の企業・団体の皆さまにお力添えいただきました。心より御礼申し上げます。カフェ・ウェルカムベビープロジェクトへご支援
くださった企業・団体の皆さまで掲載許可をいただいた方のみ、ご支援への感謝としてご紹介させていただいております。(順不同)

寄付者の声



こまちぶらすに遺贈寄付をする
ことに決めたのは、こまちぶらす
を応援することで社会がよい方向
に変わると実感してきたからです。
身近で笑顔になっている人たちが
増えていること、スタッフのみな
さんがいつも前向きでチャレンジ
し続けていることを見てきたこと
も決め手になりました。

仕事で頑張ってこまちぶらすに寄
付をすることがいつしか自分の生
きがいになりました。私たちには
こどもがいないので今後自分の財
産をどうするか考えはじめたとき
に、信頼できるこまちぶらすに託
したいと思いました。これからも、
これまでのようにチャレンジしつ
づけて頑張りたいです。

M.Yさん

ご支援はこのようなことに使われています

ウェルカムベビープロジェクトを通して

出産祝いを赤ちゃんとそのご家庭に贈ることができました。

出産祝いのプレゼントを地域の方が作ってくださる機会と場、そして、産前産後の方が
集まる場をつくることができました。

こまちカフェ・こよりどうカフェを通して

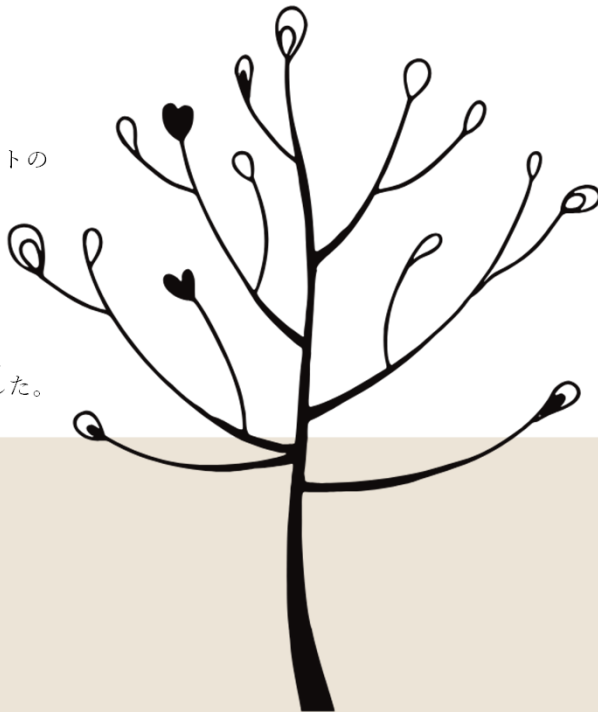
産前産後のママたちのおしゃべり会を開催できました。

不登校/ひきこもり、お子さんの発達に心配のある方等の
おしゃべり会を開催できました。

こどもまち冒険やこまちスクールといった新たなプロジェクトの
立ち上げができました。

こまちカフェのリニューアルができました。

新規のここのみならず、日々を心地よく
皆さんが過ごし関われるよう工夫を続けました。



団体概要

団体名	認定特定非営利活動法人こまちぶらす
所在地	〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町145-6奈良ビル2階
スタッフ	スタッフ 43名
パートナー数	こまちパートナー（登録ボランティア）405名

役員【理事長】森 祐美子
【理事】河合将生（office musubime 代表）
【理事】菅原健介（株式会社ぐるんどびー代表取締役）
【理事】古川貴一（UiPath株式会社 執行役員）
【理事】樺田明子（NPO法人孫育て・ニッポン理事長、NPO法人ファザーリング・ジャパン、（一社）産前産後ケア推進協会幹事、ここみて港北 代表）
【理事】大塚朋子（特定非営利活動法人こまちぶらすマネージャー）
【理事】山田顕子（特定非営利活動法人こまちぶらす事務局長）
【監事】瀬上倫弘（公益財団法人日本非営利組織評価センター事務局長、横浜市立大学客員研究員）

(2026年3月31日現在)